

## ごあいさつ

皆さまには、日頃から私ども高知銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。  
ございます。

このたび、私ども高知銀行に対する皆さまのご理解をより一層深めていただくために、平成20年度のディスクロージャー誌「高知銀行の現況」を作成いたしました。経営方針や営業の概況など高知銀行の現況をご理解いただくためのご参考になれば幸いに存じます。

当行は平成21年3月期決算におきまして、世界的な金融市場の混乱を受けた株価の急落により、株式関係損失を計上したことや、地域経済状況等を踏まえ、お取引先の業況変化に備え、予防的な引当を行ったこと等に加え、財務の健全性向上のため繰延税金資産の一層保守的な見積りによる取り崩しを行い、法人税等調整額を計上したことにより85億円の当期純損失となりました。

赤字決算という結果を招いたことを厳粛に受け止めるとともに、皆さまには深くお詫びを申し上げます。

当行の最重要課題は収益力の改善であり、このためには当行の主要お取引先である地域の中小企業の皆さまへの安定的な資金供給や、経営改善支援活動を一層強化していくことで、業績の向上を図っていきたいと考えております。この考えのもとで、中期経営計画の見直しを行っており、役職員が一丸となって計画の遂行に向け取り組んでまいります。

当行は、平成22年1月20日に創業80周年を迎えますが、これもひとえに地域の皆さま、株主の皆さまからの、暖かいご支援、ご愛顧の賜物と深く感謝しております。

当行は、「地域の皆さまとともに歩み、地域とともに発展する銀行」を基本理念としてまいりましたが、これからも地域にしっかりと根をおろし、皆さまの信頼にお応えしてまいりたいと考えておりますので、今後とも変わらぬご愛顧とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成21年7月

取締役頭取 **伊野部重晃**